

京都FM丹波放送 第53回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成29年8月2日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名
出席委員数 4名
出席委員の氏名 藤田 佳宏 委員
河田 嘉代子委員
田倉 徹也 委員
前田 竹司 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫
取締役 水嶋孝彦

4. 議題 1) 京都FM丹波放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

1) 京都FM丹波放送局概況報告

代表取締役 松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・緊急割込放送について

出水期を迎え福知山市より注意喚起の放送が多くなっている。

2) 放送番組全般に対するご意見

藤田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する

意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 緊急割込みについてどのくらいの頻度で行っているのか。

(事務局) 最近は不安定な気象状態が続き、1週間に一回程度は福知山市からの注意喚起放送をしている。ただ急な大雨の場合は放送が後手に回ったり、実際はあまり降らなかったりすることがある。

(委員) 実際大雨の際にどの程度の危険度で注意喚起を行うかは他の集まりの場でも問題になっている。市としても難しい問題だと思う。

(事務局) 急な大雨の場合は市内部での手続きなどを経ての緊急放送となるためどうしても後手に回ってしまう。信憑性のない注意喚起が続くと市民の実際の危険度の認識が薄まることは懸念されるが市としては注意喚起するに越したことは無いという考え方をされているようだ。

3) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。藤田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第53回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き	平成29年	10月31日
ホームページに掲載	平成29年	10月31日